

## 平成27年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 山陽百貨店  
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠

TEL 079-223-1231

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	9,576	1.0	90	37.4	127	37.4	74	25.4
26年2月期第2四半期	9,675	0.1	66	55.6	92	41.0	59	33.9

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 73百万円 (14.5%) 26年2月期第2四半期 64百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	92.48	
26年2月期第2四半期	73.75	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	13,152	1,521	11.6
26年2月期	13,753	1,448	10.5

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,521百万円 26年2月期 1,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期				0.00	0.00
27年2月期					
27年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,503	1.9	169	39.0	214	37.9	175	30.6	218.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	810,000 株	26年2月期	810,000 株
27年2月期2Q	7,073 株	26年2月期	7,073 株
27年2月期2Q	802,927 株	26年2月期2Q	803,027 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)における国内経済は、期首は、政府の景気対策の下支えや消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により、企業業績や個人消費に改善傾向がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にありましたが、4月の消費税率の引き上げや原材料等の輸入価格上昇に伴う物価高等の消費の押し下げ要因により、景気の先行きは、引き続き楽観視できない状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により、宝飾品・美術工芸商品などの高額商品や化粧品・ファッション商材などの身回品のまとめ買いによる大幅な売上増がありましたが、増税後はその反動から、売上が大きく前年を下回り、地方都市の店舗におきましては、個人消費の低迷も相まって、未だ厳しい商況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートする新たな中期経営計画(平成26年度～平成28年度)を策定し、そのビジョンに掲げる「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、さらなる取り組みの強化に努めるべく、各種の営業施策を展開してまいりました。

営業面では、姫路商圈におけるオーバーストア状態の中で差別化を図るべく、引き続き商品力の強化と店舗環境の整備に注力してまいりました。具体的な取り組みといたしましては、地階食品フロアには、県内初出店となる京都の名店、銘茶「中村藤吉本店」、お吸物・茶漬専門店「京洛辻が花」を、本館4階婦人服フロアには、英国の上品でエレガントな婦人服「バラ色の暮し」を、本館6階子供服フロアには、国内外の人気ブランドを取り揃えたキッズセレクトショップ「ストンプ・スタンプ」をオープンいたしました。また、本館5階生活雑貨フロアには、「ギャラリー山陽」をオープンし、ディズニーファインアート展やプラレール博覧会、美術・雑貨・クラフト展等の人気催事を週替わりで行い、集客に努めました。また、山陽姫路駅高架下「モルティひめじ内」に、新たに売場を拡張し、特設催事会場として利用することで、売上の拡大に寄与いたしました。美術催事といたしましては、日本画の清水規など有名作家の個展を開催するとともに、増税前の高額品購入の駆け込み需要を取り込むため、店内外で各種催事を行い、大きな成果をあげることができました。

経費面におきましては、広告宣伝費をはじめ、諸経費の徹底した節減を実行し、引き続き限られた経営資源の中で効率的な運用に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は9,576百万円(前年同期比1.0%減)となりましたが、連結営業利益は90百万円(前年同期比37.4%増)、連結経常利益は127百万円(前年同期比37.4%増)、連結四半期純利益は74百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ601百万円減少し、13,152百万円となりました。これは主に、借入金返済による現金及び預金の619百万円減少、有形固定資産の115百万円減少に対し、季節要因による受取手形及び売掛金の123百万円増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ674百万円減少し、11,630百万円となりました。これは主に、返済による借入金の1,015百万円減少に対し、季節要因による支払手形及び買掛金の144百万円増加、前受金の96百万円増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ73百万円増加し、1,521百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加74百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ619百万円減少し、1,064百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は430百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益125百万円、減価償却費144百万円、仕入債務の増加144百万円、前受金の増加96百万円等による収入に対し、売上債権の増加123百万円、法人税等の支払額60百万円等による支出によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ217百万円収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は28百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出21百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ181百万円支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,022百万円となりました。これは主として、短期借入金の純減180百万円、長期借入金の返済835百万円の支払があったことによるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ87百万円支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成26年4月14日付「平成26年2月期 決算短信」において公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,684,646	1,064,875
受取手形及び売掛金	664,412	787,428
有価証券	699,801	699,972
商品	1,010,801	991,802
貯蔵品	12,668	10,144
繰延税金資産	16,283	15,273
その他	127,541	167,344
貸倒引当金	△67	△80
流動資産合計	4,216,089	3,736,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,720,774	3,635,534
土地	4,724,084	4,724,084
その他（純額）	306,930	276,401
有形固定資産合計	8,751,789	8,636,020
無形固定資産	155,234	153,231
投資その他の資産		
投資有価証券	102,135	103,968
繰延税金資産	12,455	12,455
差入保証金	468,401	467,931
その他	62,496	56,929
貸倒引当金	△15,053	△15,077
投資その他の資産合計	630,434	626,207
固定資産合計	9,537,458	9,415,458
資産合計	13,753,547	13,152,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,808,825	1,953,019
短期借入金	1,850,000	1,385,000
未払法人税等	65,729	55,200
前受金	2,104,772	2,201,632
商品券	1,383,004	1,381,948
賞与引当金	14,014	13,896
商品券回収損引当金	261,200	260,200
その他	444,691	545,729
流動負債合計	7,932,237	7,796,626
固定負債		
長期借入金	3,980,000	3,430,000
繰延税金負債	9,732	9,279
退職給付引当金	272,053	291,223
その他	111,170	103,311
固定負債合計	4,372,957	3,833,813
負債合計	12,305,194	11,630,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	1,033,289	1,107,546
自己株式	△15,127	△15,127
株主資本合計	1,430,716	1,504,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,636	16,806
その他の包括利益累計額合計	17,636	16,806
純資産合計	1,448,353	1,521,780
負債純資産合計	13,753,547	13,152,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	9,675,512	9,576,491
売上原価	7,590,357	7,509,959
売上総利益	2,085,155	2,066,532
販売費及び一般管理費	2,018,911	1,975,543
営業利益	66,243	90,988
営業外収益		
受取利息	539	416
受取配当金	2,009	2,264
受取家賃	17,852	17,787
債務勘定整理益	67,041	63,413
その他	29,003	27,999
営業外収益合計	116,446	111,880
営業外費用		
支払利息	39,371	26,355
商品券回収損引当金繰入額	49,679	49,256
その他	1,161	191
営業外費用合計	90,212	75,802
経常利益	92,477	127,067
特別利益		
固定資産受贈益	2,600	—
特別利益合計	2,600	—
特別損失		
固定資産除却損	11,309	1,452
特別損失合計	11,309	1,452
税金等調整前四半期純利益	83,768	125,614
法人税等	24,547	51,357
少数株主損益調整前四半期純利益	59,221	74,257
少数株主利益	—	—
四半期純利益	59,221	74,257



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,221	74,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,921	△829
その他の包括利益合計	4,921	△829
四半期包括利益	64,142	73,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,142	73,427
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	83,768	125,614
減価償却費	152,805	144,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△375	36
賞与引当金の増減額(△は減少)	△709	△118
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,477	19,169
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	1,000	△1,000
受取利息及び受取配当金	△2,549	△2,681
支払利息	39,371	26,355
固定資産受贈益	△2,600	—
固定資産除却損	3,801	491
売上債権の増減額(△は増加)	△161,275	△123,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,625	21,523
差入保証金の増減額(△は増加)	120	470
仕入債務の増減額(△は減少)	70,468	144,193
前受金の増減額(△は減少)	105,016	96,860
未払金の増減額(△は減少)	66,320	61,066
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,821	3,012
その他	6,651	△1,688
小計	312,891	514,853
利息及び配当金の受取額	2,199	2,455
利息の支払額	△41,743	△26,353
法人税等の支払額	△60,498	△60,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,847	430,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△188,070	△21,901
無形固定資産の取得による支出	△18,284	△3,347
投資有価証券の取得による支出	△2,878	△2,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,233	△28,112
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△180,000
長期借入金の返済による支出	△835,000	△835,000
リース債務の返済による支出	—	△7,289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△935,000	△1,022,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△931,385	△619,770
現金及び現金同等物の期首残高	1,604,841	1,684,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	673,455	1,064,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)  
当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。
  
- II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)  
当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。